

# 消費者と生産者の笑顔のために。なかいずみだからできることがある。



自民党公認

# なかいずみ松司

もう一度、秋田のために

46才

期日前投票へ行こう！



## なかいずみ松司のプロフィール

1979年 秋田市生まれ  
 1998年 秋田高校卒業  
 2003年 中央大学商学部卒業  
 齊藤滋宣事務所勤務  
 2005年 株式会社友愛ビルサービス入社  
 2007年 秋田県議会議員当選(27歳)  
 2013年 参議院議員当選(34歳)  
 2019年 落選

## 主な経歴

- 参議院 予算委員会理事  
 国土交通委員会理事  
 農林水産委員会理事  
 国会対策委員会副委員長  
 自民党政務調査副会長
- 秋田県議会  
 総務企画委員 農林水産委員  
 教育公安委員長
- JA秋田県青年部協議会 顧問  
 ●秋田市羊燈会 顧問  
 ●秋田港ライオンズクラブ 会長  
 ●秋田港商友会 副会長

## 日本の主食を守る

米政策の推進 消費者の確実な主食の確保

昨年からの「令和の米騒動」のように、日本の食と農業政策は今大きな岐路に立っています。コロナ禍後の外食・中食産業やインバウンドの増、海外人気の高まりによる輸出増といった需要増などの要因を分析し、その上で私たちの主食であるお米を生産者が作り続け、国民が安心して手に取り、当たり前日々の暮らしができるよう、重点的に対策を講じていきます。



県内の若手農家たちと

## 持続可能な農林水産業

地域の多様性を活かした農業 農林水産予算の確保・充実  
持続的な生産環境づくり

地域によって、効率化・集積によって農業所得向上を目指す産業政策的農業と、そこで生業として農業を営み暮らしを続けることによって自然災害や鳥獣害から地域を守る社会政策的農業といった違いがあります。どちらも重要な両輪として守り育てなければなりません。農業予算の確保はもとより、過疎対策や森林環境整備などの様々な予算を組み合わせ、しっかりと生産者が再生産可能な、持続的な強いふるさとをつくります。

このほか、カーボンニュートラルの実現、防災減災の整備などにも取り組みます。

## 人口減少社会の克服

課題解決最先端の秋田に 先進技術の積極活用  
減少局面でも豊かに暮らせる国づくり

本格的に人口減少社会に突入した日本。その課題に最も早く向き合うことになった地域が私達の暮らす秋田です。言い換えればその課題解決の最先端に現在の秋田があります。経済・産業から地域そのものの維持まで、どう乗り越えていくかを考えなければなりません。DXやAI、先進技術は人口が少ない地域でこそ大きな効果を発揮します。人口が減る局面にあっても知恵と技術で豊かに暮らすための政策を、国政の場で形にしていきます。

## 国民生活を守り抜く

国土、国民を守る 物価高対策 経済食料安全保障

日本の国土・国民を守るのは政治の大きな使命です。テフレからの脱却は道半ばですが、その過程で起こっている物価高に対しては政治がしっかり対応しなければなりません。景気回復を実現しつつ国民が安心して暮らせるよう、ガソリンの暫定税率廃止の早期実現をはじめとした物価高支援を充実させ国民の生活を守ります。また世界情勢がめまぐるしく変わり緊張感が高まる中で、日本の経済と食料をしっかり守り抜きます。

## 質の高い教育と子育て環境

ICTも活用した教育環境の充実 家庭の負担軽減 スポーツの振興

経済格差が教育の格差につながらないよう、自治体との連携を深め、学費や給食など地域と県民の実情に合わせた支援を受けられる環境をつくっていきます。また子供たちが夢と目標を持って日々を過ごせるよう、プロスポーツをはじめとするスポーツの振興に取り組みます。